



【学校教育目標】 夢をえがき 計画を立て 行動する 児童の育成

家庭と学校の絆

月桂樹



令和7年度3月号
戸田市立新曽小学校
Tel. 048-442-2774

情報と向き合う『クリティカル・シンキング』

校長 筒井 陽子

寒さの中にも、ふとした瞬間に春の訪れを感じる季節となりました。

2月の授業参観・懇談会では、お忙しい中、多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。延期となっていた音楽発表会も同時開催することができました。子供たちの澄んだ歌声が体育館中に響き渡っていました。この一年間の子供たちの成長をご覧いただくとともに、次年度に向けての有意義な懇談会となりました。

さて、2月下旬に開催されたミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、連日のように日本人選手の素晴らしい活躍が報じられていました。3月6日から始まるパラリンピックも楽しみです。インターネットなどの情報の普及により、世界最高峰の挑戦を臨場感あふれる映像で視聴できるようになったことは、子供たちの視野を広げ、夢を与える大きな力となっています。

一方で、SNS 上でのいじめや暴力動画の拡散といったインターネットの「負の側面」が子供たちの身近な脅威となっているのも事実です。

本校では2月にこれらを未然に防ぐための特別授業を実施しました。戸田市教育委員会が埼玉県警察蕨警察署と共同制作した動画、及びスマートニュースメディア研究所と共同開発した教材を活用しました。学級の時間に、警察と連携した動画を視聴し「何が犯罪行為になるのか」という抑止の視点を学びました。さらに、「デジタル・シティズンシップ教育」の一環としての授業を実施しました。この授業の核となるのは、「クリティカル・シンキング（立ち止まって考える力）」です。子供たちは、『情報とは、気を付けてつき合うこと、「びっくりする」「許せないと思う」情報は、「誰が言っていること？（噂話かな？）」「いつの話かな？（いつ起きたことだろう？）」「他の人はその情報をどう思っているのかな？（他の人の考えも聞いてみよう!）」「この話を誰かに広めたらどうなるだろう？（傷つく人はいないかな?）」などを「立ち止まって考える」ことが大切であること』を学びました。

流れてくる情報を鵜呑みにせず、一度立ち止まって判断する力こそ、現代の「善きデジタル市民」に不可欠な素養です。御家庭でも、五輪の感動を共有する傍らで、スマートフォンの使い方や SNS でのマナーなどの「情報の扱い方」についてぜひ話題にしてください。

さて、今年度の教育活動も3月24日（火）の卒業証書授与式、26日（木）の修了式をもって終わることになります。

子供たちが自信を持って次なるステージへ進めるよう、教職員一同、最後まで寄り添ってまいります。御理解と御協力いただきますようお願いいたします。